

# 第21号

南部箕蚊屋広域連合



# まめ・カフェ通信

## ～第21回まめ・カフェ開催報告～

令和6年10月3日(木) 18:30～20:00

伯耆町 農村環境改善センター

参加者 47名(薬剤師、保健師、看護師、理学療法士、作業療法士、  
社会福祉士、(管理)栄養士、介護福祉士、介護支援専門員)

### まめ・カフェとは??

医療や介護、地域に関わる  
私たちの仕事ってまめでな  
ければつとまらない。

「まめなかや?(元気です  
か)」と、こまめな声かけ  
が関係づくりの第一歩!…  
多職種が気軽に集ってまめ  
に話せる場所が欲しい☆  
という声からできたのが、

まめ・カフェです♪

### 講演

#### ①「レケンビの適正使用について」

講師：エーザイ株式会社 小西 純司 氏

#### ②「アルツハイマー病治療の新たな展開

～早期発見と予防戦略～」

講師：南部町国民健康保険 西伯病院  
医師 高田 照男 氏

### 《参加者の感想》

- ・認知症や治療について知識を得ることができました。  
早期によい選択ができればよいと感じました。
- ・レカネマブについて従来の薬との差、作用機序など非  
常に分かりやすく勉強になりました。
- ・受診につなげる難しさはあるが、早いうちに受診す  
ずめて治療を受けることが大切だと思った。知識として  
知っていることで情報提供できるようにしたいと思っ  
た。
- ・普段関わっていない事業所、職種の方の意見が聞けて  
良かった。

### 会場内での様子



❖ アンケート結果の一部をご紹介させていただきました。

ご協力ありがとうございました。次回も、皆さまのご参加をお待ちしております!

発行/南部箕蚊屋広域連合

Tel: 0859-39-6222

Fax: 0859-39-6223

第21回のまめ・カフェは、講師  
にエーザイ株式会社 小西 純司  
氏と南部町国民健康保険 西伯病  
院の高田医師をお招きし、話題の認  
知症の新薬(レケンビ:商品名 レ  
カネマブ)と、アルツハイマー病の  
早期発見や治療について詳しく学  
ぶことが出来ました。

レケンビについては、MCI・軽度  
アルツハイマー病の方が対象であ  
ること、点滴投与は2週間に1回、  
西部には初回導入施設が3か所、フ  
ォロー施設が3か所であるなど、詳  
しくお話をさせていただきました。



また、高田医師からはアルツハイ  
マー病の原因物質  $\text{A}\beta$  は何  
十年もかけて症状が出るため、原因  
物質の出現をどう見つけるかが課  
題であること、認知症の予防や治療  
についてよく理解をし、適切に住  
民に伝えることが大切だというお  
話をうかがいました。

講義後の意見交換も活発に行わ  
れ、有意義な時間となりました。